

令和7年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施 設 の 名 称	観光施設（黄金岬海浜公園外4件別紙のとおり）		所管課係名	経済観光課観光振興係	
所 在 地	留萌市		設置年月日	別紙のとおり	
施 設 設 置 目 的	別紙のとおり				
施 設 概 要 ・ 設 備	別紙のとおり				
指定管理者名（選定方式）	特定非営利法人留萌観光協会				
選 定 方 式	公募・非公募（理由）				
指 定 期 間	令和6年度～令和7年度				
指定管理者の主な業務	・ 施設の維持管理 ・ 施設の使用許可及び料金徴収 ・ 施設の事業計画及び実施				
利 用 料 金 の 導 入	あり				
施 設 の 利 用 実 績	利用区分等	利用実績（人）			対前年（％）
		令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	沖見海浜公園緑地 海水浴場入込客数	31,440	31,868	28,487	89.4%
	浜中海浜公園緑地 駐車場料金徴収台数	319	229	153	66.8%
	千望台入込客数	22,260	25,284	19,954	78.9%
	黄金岬入込客数	80,914	94,440	82,421	87.3%
	海のふるさと館 入込客数	12,955	10,666	10,440	97.9%
	（特記事項）				
指定管理料 （過去3年間）	令和5年度	29,978,333円			
	令和6年度	31,921,599円			
	令和7年度	31,925,229円			
（その他特記事項） 燃料費に係る精算含む					
	令和5年度	83,333円			
	令和6年度	7,599円			
	令和7年度	11,229円			

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書（提案書）の内容に基づき、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。

評価の方法は、年度終了時に指定管理者から提出される事業報告書や市の立入点検等の結果を参考に記載してください。

大項目	中項目	評価項目	評価					評価に対する説明
			優秀	良好	普通	不十分	不良	
管理能力	団体の概要	団体の経営状況は良好か	○					2013年より黒字経営を継続
		当施設管理運営をサポートする体制はあるか	○					加盟企業・個人によるサポート体制がある
	適切な管理運営	市の方針、施設の設置目的、業務等を理解した管理はされているか		○				設置目的を理解し、施設の有効活用に勤めている
		市が示す施設運営方針や管理の基準等に適合しているか	○					基準に適合した適切な管理
		公共の仕事という倫理性や法令遵守について認識し対応しているか	○					条例に基づき減免や申請手続き等適切に管理
		市や関係団体等と連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	○					海水浴場事故防止対策会議や都度市との協議など行い、綿密な連携を実施
	市民の平等利用	正当な理由なく一部の市民に利用制限や優遇が行われていないか	○					公共性を認識しており、平等に利用されている
		事業内容に偏りがあり、利用者が限られることはないか	○					老若男女問わず事業の実施
	適切な組織・体制	職員体制や配置人員は適切であるか	○					積算されている以上の人工数で管理
		現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切か		○				
		労働関係法令等を遵守した規程を整備し、従事者の適正な労働条件を確保しているか	○					厚生労働省のモデル就業規則に則り、規則を整備
	職員研修・人材育成	職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか		○				
	経理及び事務処理	会計処理の基準等に基づき適正に事務処理となっているか	○					経理規程に基づき事務処理を実施
		経理帳簿や台帳等を整備し、情報公開や監査請求に対処できるか	○					経理規程に基づき事務処理を実施
		必要に応じパソコン等ＩＴ機器を活用できるか	○					会計ソフトなど積極的に活用
		施設や附属設備の保守点検作業は、必要な基準や仕様を満たしているか		○				
		業務報告や事業報告が適切に作成されているか	○					施設毎に整理し、適切に報告
	安全管理	安全対策は明確で、職員の教育・訓練の実施はされているか	○					海水浴場スタッフへの安全管理講習や海のふるさと館においては年２回消防訓練を実施
		施錠、警備体制等は適切であるか		○				
		利用者の安全確保に関する研修を実施し、職員が内容を熟知しているか		○				
	緊急時対応	事故や災害時等緊急時の連絡体制が十分に整備されているか	○					緊急対応マニュアルに基づき、連絡体制が万全
		避難経路が確保や避難時に支障をきたす障害物はないか		○				緊急対応マニュアルの作成
	個人情報保護	個人情報の管理方法においてセキュリティ対策を講じているか		○				
	秘密の保護	職員が業務上知り得た秘密について漏洩防止対策を講じているか		○				
施設の運営	業務内容	業務について処理・対応が適切に行われているか	○					迅速に処理・対応し、都度協議
		管理区域、業務範囲について漏れなく的確に把握されているか		○				
		事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか	○					ウニ獲り体験や、ラウンジコンサートなど各施設ならではの事業を実施
		年間の事業量が適切に実行されているか		○				
	業務の第三者委託	業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○					障がい者就労施設なども積極的に活用し、第三者への委託を実施
		再委託先から適切に業務報告をさせるなど再委託の管理が適切か	○					月報や点検結果表・点検記録表の提出の他にも、不具合が確認された際には逐一報告を受けている
	経費節減・業務効率化	経費節減や業務効率化が継続的に行われているか		○				直営による経費節減を心掛けている
	備品等の維持管理	引き渡した備品等に過不足はないか		○				物品管理台帳を整理し管理
		引き渡した備品等はその機能が失われていないか		○				老朽化したものは市との協議後破棄し、必要なものは買換えを行っている
	利用の促進	施設の利用促進に努めているか	○					夕陽が見える時は開館時間を延長するなど、施設の利用促進に努めている
	利用者サービス	利用者サービスの向上に努めているか		○				

障害者等への配慮	障害者、子ども、高齢者等に配慮した管理がされているか		○					施設の利便性向上のため、海のふるさと館のエレベーターを定期的に修繕していたが、8月下旬に故障し改修が不可となった
苦情等への対応	利用者の苦情や要望、意見等に適切に対応しているか		○					
セルフモニタリング	セルフモニタリングが適切に行われているか	○						交流ノートやスタンプラリーなどの意見を参考に対応を実施
環境への配慮	省エネ等の環境に配慮と廃棄物処理は適切か	○						
地域との連携	地域住民等との連携に積極的に取り組んでいるか	○						地域住民等と連携しごみ拾いを実施
自主事業	サービスの向上かつ収入増に結び付いたか		○					
	収支のバランスはとれているか		○					
特記事項への対応	募集要項における特記事項について考慮されているか		○					
事業報告書	事業報告書と事業計画書を比較し収支の過小、過大はないか	○						
総合評価	優 秀	23	21					

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和7年4月26日～令和7年9月28日
	調査対象	スタンプラリー参加者
	調査方法	スタンプラリー参加台紙に記載
調査結果	スタンプ設置場所6ヵ所で実施（千望台休憩施設、礼受牧場畜産館「トリム」、海のふるさと館、船場公園管理棟、ホテル神居岩、お勝手屋萌） ○応募総数 161名（うち道内：128名、道外：19名、記載なし：14名） ○参加者が161名と昨年より16名少ない状況ではあった。 また、参加者の多い地域は、留萌市34.4%、旭川21.9%、札幌が14.1%と留萌市内の参加者が例年に比べ非常に多い結果となり、次いで旭川市、札幌市となっている。	
利用者からの意見等	意見要望欄には、景観や夕陽、食に対する感想や「楽しく参加できた」、「スタンプラリーをきっかけに新しい発見があった」など好意的な意見の他にも、観光案内のツールとして活用されている方の声もあった。 また、家族で巡っているグループも多く、道の駅や屋内交流遊戯施設「ちゃいるも」との連携が図られている。 一方で少数ではあるが施設管理について、「整備されていない部分」や「施設の清潔感」についてのご意見があったため、気持ち良く留萌の観光巡りをしていただけるよう指定管理者と協議していきたい。	

4 指定管理者による自己評価

	▼各観光施設の特性を活かし、利用者の皆様の利便性・安全性向上と、地域の魅力発信を両輪で推進した。施設ごとの具体的な取り組みと成果は以下のとおり。 ＜総括＞ ・全施設において、定期的な清掃やメンテナンス、安全管理を徹底し、利用者が安全かつ快適に過ごせる環境維持に努めました。特に、黄金岬海浜公園や海のふるさと館では、計画に基づいた事業を滞りなく遂行し、安定した施設運営を実現した。 ＜沖見・浜中海浜公園＞ ・海水浴期間外には、地域企業や諸団体と連携した海浜清掃活動を積極的に実施し、地域一体となった環境保全に貢献した。
--	---

今年度の自己評価	・海水浴期間中は、スタッフによる清掃に加え、遊泳禁止区域での注意喚起放送や啓発看板の設置を徹底し、利用者の安全意識向上を図った。 ＜千望台休憩施設＞ ・カフェ経営者と協働で地域の特産品を活かした新メニュー開発に取り組み、食を通じた留萌の魅力発信に繋げ、施設の集客力向上に貢献した。なお、ハートのオブジェは人気のフォトスポットとして、施設の認知度向上と来訪促進の大きな要因となっている。 ＜黄金岬海浜公園＞ ・キャンプ場の高い人気に応えるため、混雑時においても利用者の快適性を損なうことがないように、利用状況を見極めながら効率的に草刈りや清掃を実施し、常に良好な環境を維持した。 ・佐藤勝氏の銘板から、来訪者が作品の背景をより深く理解する機会を創出するだけでなく、今年も留萌高校吹奏楽部及び留萌市民吹奏楽団による佐藤勝氏作曲の「若者たち」を収録し、銘板から演奏の様子を確認することにより、郷土愛の醸成に繋げることが出来た。 ・「ウニ獲り体験」では、関係各所と調整の上、会場周辺の市道を一時的に車両通行止めとする措置を講じ、徹底した安全管理により、参加者が安心して楽しめる環境を提供した。 ＜海のふるさと館＞ ・オープニングイベントを皮切りに、子供向けの工作教室から落語会まで、年間を通じて多彩なイベントを企画・開催し、幅広い年齢層の集客に成功し、施設の活性化に繋がられた。 ・市民参加型の企画展示「私の宝物コーナー」を実施し、地域住民の文化活動の発信拠点としての役割を果たした。 ・全3回開催したラウンジコンサートでは、市民のみならず市外からも多数の来場者を迎え、各イベントを通じて、本施設の魅力が広域に認知されていることを確認でき、今後の事業展開への大きな手応えを得られた。
今後の目標	・各観光施設において、全体的に老朽化は進んでいるが軽微な破損に関しては指定管理者により修繕し、大規模な修繕に関しては委託者と協議し、より安全で快適な施設の管理運営を目指す。 ・魅力ある観光施設を目標に、道の駅るもいを含む各施設への来訪者の循環を促進し、留萌ならではの体験を提供すると共に、観光客数の増加を図りつつリピーターに繋がられるよう、積極的な情報発信を目指す。 ・経営においても、経費削減や業務効率をあげるなど安定した経営を目指す。 ・行政の代行者として平等かつ公平な取扱いによる安全で快適な管理運営を行うとともに、施設をただ単に維持管理するだけでなく、利用者及び来訪者からの声なども聞き入れつつ様々な視点から各施設の魅力をより効果的かつ効率的に活用し、更にそこから新たな価値を創造する経営的な感覚を取り入れた施設管理運営を目指し、より質の高いサービスの提供を務める。

5 留萌市指定管理者選定委員会による総合評価

各施設の特徴に応じて、利用者目線に立った独自のイベント企画に積極的に取り組み、利用促進と地域との良好な関係を築いている。今後も所管課と連携し、安心して利用できる管理運営が行われることを期待する。	総合評価結果				
	優秀	良好	普通	不十分	不良
	○				

別紙

1 施設の概要

施 設 の 名 称	観光施設①（沖見海浜公園緑地）	所 管 課 名	経済観光課
所 在 地	留萌市沖見町	設 置 年 月 日	平成12年
施 設 設 置 目 的	海浜公園の整備により海水浴場来訪者等の利便性向上を図るため。		
主 な 施 設 ・ 設 備	・ 便益施設（南・北） ・ 駐車場（南・北）		

施 設 の 名 称	観光施設②（浜中海浜公園緑地）	所 管 課 名	経済観光課
所 在 地	留萌市浜中町	設 置 年 月 日	昭和30年代（施設建設は平成8年）
施 設 設 置 目 的	海浜公園の整備により海水浴場来場者等の利便性向上を図るため（建設当時は海水浴場に隣接していたが、現在は海水浴場未開設となっている。）		
主 な 施 設 ・ 設 備	・ 便益施設（南） ・ 便益施設（中央） ・ 便益施設（北） ・ 駐車場		

施 設 の 名 称	観光施設③（千望台）	所 管 課 名	経済観光課
所 在 地	留萌市礼受町	設 置 年 月 日	昭和59年
施 設 設 置 目 的	景勝地における環境整備による来訪者の利便性向上のため		
主 な 施 設 ・ 設 備	・ 休憩施設 ・ 展望施設 ・ 駐車場 ・ 石像、石碑		

施 設 の 名 称	観光施設④（黄金岬海浜公園）	所 管 課 名	経済観光課
所 在 地	留萌市大町	設 置 年 月 日	昭和61年
施 設 設 置 目 的	景勝地における環境整備による来訪者の利便性向上のため		
主 な 施 設 ・ 設 備	・ オレンジハウス ・ キャンプ場（炊事場・トイレ） ・ 散策路、照明灯 ・ 駐車場（南・北） ・ 観光資材庫（旧日石倉庫） ・ 記念碑「波濤の門」		

施 設 の 名 称	観光施設⑤（海のふるさと館）	所 管 課 名	経済観光課
所 在 地	留萌市大町2丁目3番1号	設 置 年 月 日	平成元年
施 設 設 置 目 的	景勝地に立地する旧博物館の建物及び収蔵物を観光施設に転換し、市民及び観光客の憩いのスペースとして活用するため		
主 な 施 設 ・ 設 備	・ 駐車場 ・ 常設及び特別展示室 ・ 展望テラス ・ 収蔵庫 ・ 厨房施設		